

2014. 7. 14 (月)

(第3種郵便物認可)

ニホン・トレンジャーの「CFX」

「トースター」の「CFS」ナビミナ

クニタ農機カボ「ニエント」
「KSTX」

女性目線の商品開発を始めた(東京都千代田区)



丸山製作所

(東京)

- 会社概要=1895年新潟県高田で丸山商會を創業、1937年(株)丸山製作所設立。尾頭正伸社長
- 所在地=〒101-0047 東京都千代田区内神田3の4の15。(電)03(3252)2271

会社 フォーカス

創業120周年間近の丸山製作所は、消火器、ポンプ、エンジンの製造技術を3本柱に、多種多彩な商品群を展開している。農機ではハイクリブーム(乗用管理機)、独自のリサーキュレーターエンジン使用の刈り払い機、無線操縦できる動力噴霧器、ステレオスプレーヤ(スピードスプレーヤ)など顧客ニーズや時代の流れをつかんだ製品を製造、販売する。

消火器の製造・販売から起業し、その容器を密封する技術を活用して背負い式噴霧器を製作、動力式噴霧器に進化させ、農業分野では一貫して防除用農機具を手掛けている。

消火器の密封技術を生かして防災関連商品を展開。ポンプ技術ではポンプ本体の製造販売と農機に活用する。エンジンは1986年

防除農機具多彩に 女性職員が開発チーム

に製造工場を設置、自社製品に搭載している。

ハイクリブームは車高が高く、畝をまたいで作業するハイクリアラランストラクターで、ブームを両側に広げて農薬を散布する。野菜など畑作物で活躍する。有効地上高が80センチと110センチのタイプがあり、根深ネギにも対応する。

キャビン付きは快適で農薬被ばくが無いメリットがある。国内では業界初。販売するのは当社だけ(営業推進課)と胸を張る。

刈り払い機は2サイクルエンジンの排ガス規制に対応した独自のリサーキュレーターエンジンを搭載。排気ガスを循環させ燃焼効率を上げた。未燃焼ガスの排出を抑え燃費を約35%向上させた。暖かい排気ガスを循環させることで始動性に優れ、出力は10%向上した。

動力噴霧器には自走式の無線操縦仕様がある。ホースの送り出しと巻き取り、動噴クラッチのオン・オフ、エンジンの停止、高速・低速の切り替えなどの作動を遠隔操作できる。薬液が切れたとき、本機まで戻る必要が無い機種もある。高齢化に対応し、操作性を向上させている。

果樹園用の防除機、ステレオスプレーヤは従来のノズルに比べ、農薬の飛散(ドリフト)を抑え、近隣圃場(ほじょう)などに危害を与えないドリフト低減ノズルを装着したモデルを用意する。梨などの棚用と立ち木用がある。

今後は海外展開に力を入れるほか、ユーザーの半数が女性となっている状況に対応し、女性約20人による商品開発チーム「レプロジエクト」を結成した。